

# 福岡県立ふれあいの家南筑後 個別施設計画

施設類型	県民向け施設
整理番号	69
施設所管課	社会教育課

令和3年2月

❀福岡県❀

福岡県立ふれあいの家南筑後  
個別施設計画

目次

第1章	概要	1
	(1) 対象施設の概要	
	(2) 対象施設の活用状況	
	(3) 計画期間	
	(4) 位置図等	
第2章	優先順位の考え方	3
	(1) 施設間の優先順位	
	(2) 施設内での優先順位	
	(3) その他	
第3章	個別施設の状態等	4
	(1) 個別施設の状態	
	(2) 施設の現存率	
	(3) 目標耐用年数	
第4章	対策の内容等	8
	(1) 改修・更新について	
	(2) 対策の平準化について	
	(3) 対策の内容等	

## 第1章 概要

### (1) 対象施設の概要

対 象 施 設	福岡県立ふれあいの家南筑後		
所 管	教育庁教育振興部社会教育課		
整 理 番 号	69	竣 工 年 度	平成7年度
所 在 地	福岡県八女市山内1268-2		
敷 地 面 積 ( m <sup>2</sup> )	3,330.94	建 築 面 積 ( m <sup>2</sup> )	657.28
主 構 造	W	延 床 面 積 ( m <sup>2</sup> )	1,086.75
主 要 建 築 物	ふれあいの家南筑後		

### (2) 対象施設の活用状況

建 物 の 名 称	ふれあいの家南筑後				
棟 番 ・ 枝 番	1019	-	1	竣 工 年 度	平成7年度
建 築 面 積 ( m <sup>2</sup> )	3,346.36		延 床 面 積 ( m <sup>2</sup> )	1,086.75	
構 造 ・ 階 数	W造 地上2階 地下1階				
各 階 面 積 及 び 用 途					
階別	階床面積(m <sup>2</sup> )	主 な 用 途 ( 室 名 他 )			
2F	278.89	研修室3～7、談話コーナー、洗面所、トイレ			
1F	600.91	研修室1～2、厨房、多目的ホール兼食堂、浴室、洗面所、トイレ			
B1	206.95	ボイラー室、倉庫			

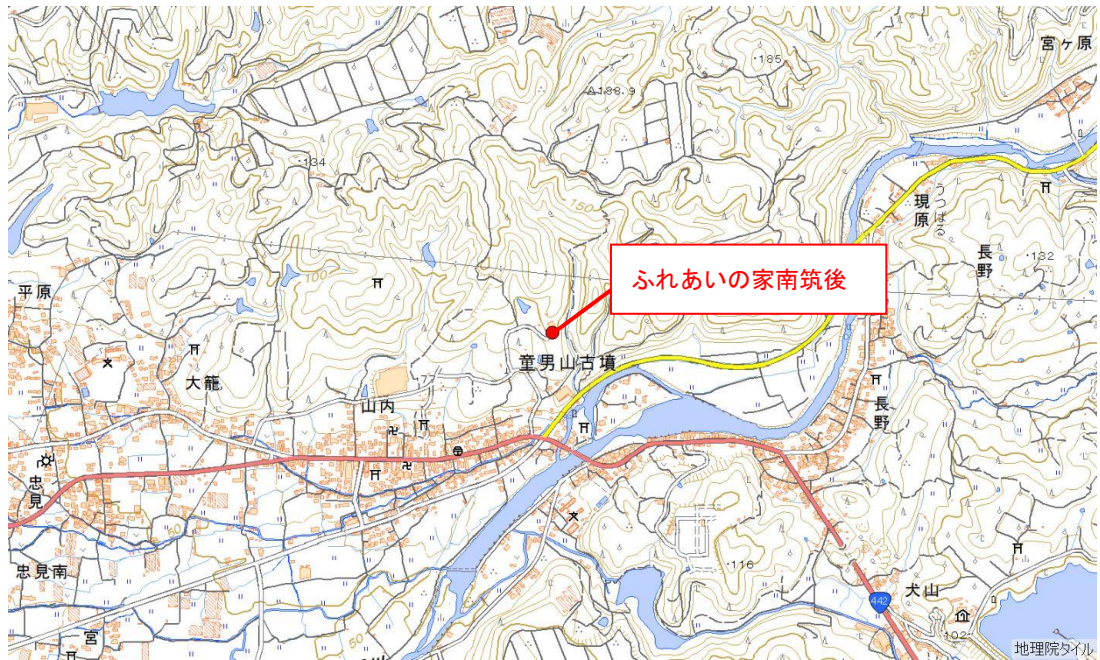
ふれあいの家南筑後は平成7年度に竣工され、豊かな自然環境の中での野外活動や多様な学習を通して、健全な青少年の育成のために設置された、宿泊もできる研修施設です。

### (3) 計画期間

計画期間は令和8年度までとします。

(4) 位置図等

①位置図



②施設写真

全景



## 第2章 優先順位の考え方

### (1) 施設間の優先順位

当該施設は、行政改革において公の施設の見直しを進めた結果、令和3年4月1日に廃止することになりました。

計画期間中に撤去を行います。

### (2) 施設内での優先順位

施設としては木造の建物です。

ひび割れや塗膜剥離など老朽化による不具合が目立つ状況となっています。

### 第3章 個別施設の状態等

#### (1) 個別施設の状態

施設設備の不具合等が発見された場合、部分的に事後保全による修繕を行っているものが多く、改修が必要な箇所が多い状態です。

#### (2) 建物全体の現存率（平成30年度施設調査時のデータ）

**現存率算定表**

施設名称	ふれあいの家南筑後		建物名称	ふれあいの家南筑後				
所在地	八女市山内1268-2		棟番・枝番	1009	-	1	築年数	23年
建築年度	平成7年度	建築面積	657.28 m <sup>2</sup>		現存率	74.0	想定耐用年数	65年
構造・階数	W 2	延面積	1,086.75 m <sup>2</sup>					
区分	項目及び①評価比率(%)		仕様	経過年数	②各部位の現存率		①×②	
構造	躯体	40	W	23	100.0		40.00	
	小計							40.00
主要部仕上げ	屋根・防水	20	その他	23	40.0		8.00	
	外壁	20	塗装	23	60.0		12.00	
	小計							20.00
電気設備	受変電設備	10		23	70.0		7.00	
	小計							7.00
機械設備	給排水・衛生・給湯設備	10		23	70.0		7.00	
	小計							7.00
合計							74.00	

この結果、ふれあいの家南筑後の現存率は「74.0」となります。

○建物各部位の現存率

調査部位	種類・形式等	各部位の現存率	判定項目	判定
躯体	W	100.0	耐震診断による Is 値 <sup>1</sup>	Is 値が 1.0 以上 もしくは新耐震基準
屋根	その他	40.0	防水層からの漏水 またはその痕跡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広範囲に多くの劣化がある</li> <li>・ 少数の部材にも多くの劣化部分がある</li> <li>・ 大規模修繕が必要</li> </ul>
			防水層の劣化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広範囲に多くの劣化がある</li> <li>・ 少数の部材にも多くの劣化部分がある</li> <li>・ 大規模修繕が必要</li> </ul>
			経年（新設もしくは改修後）	経年 20 年以上
外壁	塗装	60.0	外壁のはく落、浮き、ひび割れ等の劣化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広範囲に少しずつの劣化がある</li> <li>・ 多数の部材に各々少しずつ劣化部分がある</li> <li>・ 部分修繕でも対応可能</li> </ul>
			漏水の発生・痕跡の有無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広範囲に少しずつの劣化がある</li> <li>・ 多数の部材に各々少しずつ劣化部分がある</li> <li>・ 部分修繕でも対応可能</li> </ul>
内壁	石こうボード EP	60.0	劣化	仕上げ材等の劣化が多く認められるが、部分修繕で対応可能
天井	石こうボード EP 化粧石こうボード	40.0		
床	ビニールシート張り フローリング	80.0		
建具	木製	70.0	劣化	仕上げ材等に劣化が部分的に発生しているが機能上問題なし
			開閉作動・取付け状態	仕上げ材等の劣化が多く認められるが、部分修繕で対応可能

<sup>1</sup> Is 値：構造耐震指標のことであり、この指標が大きくなると建築物の耐震性能が高くなることを意味する。

調査部位	種類・形式等	各部位の 現存率	判定項目	判定
電灯・電話設備	電灯設備 電気時計 拡声設備 避雷設備 電話設備	60.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
受変電設備	あり	70.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
自家発電設備	—	00.0	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—
動力設備	動力設備方式 中央監視制御	40.0	経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
非常用照明・ 火災報知設備	非常用照明・ 火災報知設備	70.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 15 年以上
その他設備	インターホン TV 共同受信 防犯設備等 表示設備	20.0	経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
空気調和・換 気・排煙設備	空調方式 冷熱源機器 温熱源機器 排煙方式	70.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 15 年以上
給排水・衛 生・給湯設備	給水方式 水槽 給湯 ガス	70.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
消火設備	—	00.0	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—
エレベーター 設備	—	00.0	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—



(3) 目標耐用年数

建築年	経年	耐震性能		鉄筋 腐食度	平均 圧縮強度	中性化 深さ	目標 耐用年数
		耐震基準	補強後の I S 値				
1995	25	新	—	—	—	—	26年

令和3年4月1日に施設を廃止し、計画期間中に撤去を行います。よって、ふれあいの家南筑後の目標耐用年数を26年（残年数を1年）と設定します。

## 第4章 対策の内容等

### (1) 改修・更新について

計画期間中に撤去を行います。

撤去費用は、約1億3千万円となっています。

### (2) 対策の平準化について

計画期間中に撤去を行います。

### (3) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の取り組みは以下のとおりとなりますが、取組みの進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うことがあります。

		(百万円)			計
区分	項目	実施時期			
		令和2～3年度	令和4～6年度	令和7～8年度	
構造	躯体	0	0	0	0
主要部仕上げ	屋根・防水、内壁、天井、建具	0	0	0	0
電気設備	電灯・電話設備、自家発電設備、動力設備、非常用照明・火災報知設備、その他の設備	0	0	0	0
機械設備	給排水・給湯・ガス設備、空気調和・排煙設備、消火設備、エレベーター	0	0	0	0
その他	撤去	49	77	0	126
計		49	77	0	126

※実際の予算や事業費等とは異なります。